

資料提供
 令和6年8月6日
 課名 医療介護政策課
 担当者 花田
 内線 3205
 直通電話 082-513-3206

因島地域における病院の再編統合について

1 要旨

8月6日に開催された尾三圏域地域医療構想調整会議において、因島医師会病院と因島総合病院（日立造船健康保険組合）から再編統合に関する対応方針案が示され、合意が得られたため、令和8年4月1日の統合に向けて両病院で準備を進めていく。

2 現状・背景

尾三医療圏においては、全国又は県内と比較しても早いスピードで人口減少や高齢化が進んでいる。両病院においては、医師確保に困難を抱える中、同様の医療機能を担うなど医療資源が分散している状況にあり、救急医療等の体制維持が課題となっている。また、因島総合病院の建物の老朽化への対応も大きな課題となっている。

地域医療を安定的に確保するため、今後の医療需要を踏まえて、医療提供体制を見直す必要がある。

3 概要

(1) 再編の内容

病院名	因島医師会病院	因島総合病院	(再編統合後) 因島医師会病院
開設者	因島医師会	日立造船健康保険組合	因島医師会
病床 (病床機能)	197床 (急性期 42、回復期 103、慢性期 52)	115床 (急性期 42、回復期 41、慢性期 32)	197床 (急性期 42、回復期 103、慢性期 52)
常勤医師数	8名	4名	最大 12名
診療科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、心療内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科	内科、リウマチ科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、泌尿器科、歯科口腔外科、脳神経外科、精神科、皮膚科、婦人科、放射線科	内科、腎臓内科、消化器内科、糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、リウマチ科、外科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、放射線科、心療内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科口腔外科 (脳神経外科、精神科、婦人科は承継しない)
課題	・医師不足	・医師不足 ・建物の老朽化(築63年)、耐震強度不足	統合による機能強化 ・島内での人工透析診療の継続 ・救急等の医療提供体制の維持・強化 ・在宅医療・介護の更なる強化

(2) 広島県による支援

【統合に係る支援】

- ・医療機能の分化・連携に係る協議の場の設定
- ・地域医療の現状分析や様々な医療再編パターンの提示・助言等

【今後の支援】

- ・国への重点支援区域の申請
(選定された場合、国による技術的支援及び財政的支援を受けることが可能となる。)
- ・施設や医療機器等の整備に係る費用の補助 (地域医療介護総合確保基金)

(3) スケジュール

令和6年8月6日	尾三圏域地域医療構想調整会議
8月29日	広島県医療審議会保健医療計画部会 (県単位の地域医療構想調整会議)
令和8年2月	透析・外来棟の完成 (予定)
令和8年4月1日	統合

《問合せ先》

因島医師会病院	因島医師会	0845-24-1210
日立造船健保組合 因島総合病院	日立造船健保組合 総務課	06-6569-7065

2病院の基本情報

因島地区の病院は因島医師会病院・因島総合病院の2病院のみであり、主に回復期～慢性期の機能を担っています。因島総合病院は、因島内で唯一の透析施設を有しています。

因島医師会病院

因島総合病院

病院名称	因島医師会病院	日立造船健康保険組合 因島総合病院
開設者	一般社団法人因島医師会	日立造船健康保険組合
病院長	藤井 温 設立 1982年5月	山本 頼正 設立 1917年12月9日
診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、心療内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科	内科、リウマチ科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、泌尿器科、歯科口腔外科、脳神経外科、精神科、皮膚科、婦人科、放射線科
病床数	197床（一般144床、療養53床）	115床（一般83床、療養32床）
施設基準	急性期一般入院料6、地域包括ケア入院医療管理料1、障害者施設等入院基本料、回復期リハビリテーション病棟入院料4	急性期一般入院料4、医療療養病棟入院基本料Ⅰ、地域包括ケア病棟入院料
健診事業	人間ドック・健康診断	人間ドック・健康診断
介護事業	介護老人保健施設、通所リハビリテーション、訪問看護 訪問介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、尾道市南部地域包括支援センター	介護医療院（8床）、訪問看護
職員数	380名（常勤換算317.8名：常勤279名、非常勤101名）	250名（常勤換算198.2名：常勤165名、非常勤85名）

Note: 非常勤職員は常勤以外を指し、パートなども含まれる
（医師会病院（2023年10月時点）、総合病院（2023年11月1日時点））

2

地理的關係

因島地区の病院は因島医師会病院、因島総合病院の2病院のみです。2病院は、因島の住民だけではなく、隣島の生口島や愛媛県の生名島・岩城島・弓削島などの住民への医療も担っています。また、因島総合病院は、これらの島を含めた地域で唯一、透析治療を担っています。



Source: 「政府統計の総合窓口（e-Stat）」より、統計地理情報システム「地図で見る統計（JSTAT MAP）」を用いて作成

3

2 病院を取り巻く事業環境

因島島内では人口減少、医師不足等地域医療の状況変化が生じています。こうした地域の状況を鑑み、今後の医療提供体制のあり方について検討を行って参りました。このような中で、因島住民への医療提供体制を維持すべく、因島総合病院の機能を医師会病院に統合するとの判断に至りました。

外的要因

- ✓人口減少
- ✓患者数は減少見込
- ✓病床数・病床過剰地域
- ✓医師不足
- ✓地域医療構想の策定≒効果的・効率的な医療提供体制の実現

内的要因

1. 医療提供状況

- ✓両院共に、急性期を脱した患者や療養の患者の受け入れが多く、地域内で同様の機能を担っている
- ✓医師不足により初期救急医療体制維持が困難
- ✓総合病院の建物老朽化（耐震性の問題）により、安全面での課題

2. 経営状況

- ✓患者数減少と連動し、医業収益の減少が予想される

新病院の診療機能

	因島医師会病院	因島総合病院	統合時
病床数	197床（一般42、地域包括ケア50、障害者等52、回復期53）	115床（一般26、地域包括ケア57、療養32）	197床（一般42、地域包括ケア50、障害者等52、回復期53）
診療科構成 （入院・外来）	内科 循環器内科 糖尿病内科 整形外科 放射線科 皮膚科 耳鼻咽喉科	消化器内科 呼吸器内科 外科 リハビリテーション科 心療内科 眼科 泌尿器科	内科 消化器内科 循環器内科 リウマチ科 整形外科 小児科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 心療内科 皮膚科 眼科 泌尿器科
透析	なし	39台	39台
救急	一次～二次救急	一次～二次救急	一次～二次救急
健診（件数 人間ドック、がん検診含む）	1,935	875	約2,800
在宅	（法人内保有）訪問看護、訪問介護、在宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護（*地域包括支援センターも尾道市より受託）	訪問看護	（法人内保有）訪問看護、訪問介護、在宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護（*地域包括支援センターも尾道市より受託）
介護	通所リハビリ 老健施設等	介護医療院8床	通所リハビリ ※介護医療院は承継しないが、医師会所有の施設で対応 老健施設等
特徴	医療～介護まで総合的な対応が可能 回復期リハビリに注力	因島唯一の透析機関として透析患者に対応	医療～介護まで総合的な対応が可能 回復期リハビリに注力 透析機能を承継し透析患者にも対応可能

Note： 健診件数は、2022年度の実績を記載している